



クマによる 被害を受けないために

クマに出会わない工夫を

- 山に入る前にはクマの目撃情報を収集し、見通しの悪い場所には立ち入らない。
- 朝夕や霧が出ているときの行動は避ける。
- 1人ではなく、2人以上で行動する。
- 鈴、笛など音のするものを身につけ人の存在を知らせる。

クマ目撃情報は
こちら



クマ鈴

クマに出会ってしまったら

- 大声を出さない、物を投げつけたりして、クマを刺激しない。
- クマに向き合ったまま、動きを見ながらゆっくり後退する。
- 背中を見せて走って逃げない。
- 子グマを見つけたらそっと立ち去る。(近くに母グマがいる可能性があり危険)



クマの爪痕

クマを引き寄せないために

- 野山に生ゴミを捨てたり、クマ等の野生動物には絶対に餌を与えない。
- 山麓の人里では、生ゴミの他、廃棄果樹や野菜等を放置しない。
- クマ等の隠れ場所になる、下草や藪(ヤブ)の刈り払いを行う。



県内のツキノワグマは、生息数が非常に少なく、県の絶滅危惧種に指定されていますが、人里への出没があると人身被害が懸念されます。県では、県民の皆様の安全確保を最優先にしつつ、クマを可能な限り保護する方針で対応しています。